

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和7年 7月 11日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	岩倉建設株式会社
所在地	〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条西7丁目16番2
代表者役職・氏名	代表取締役社長 鈴木泰至
担当者連絡先	電話：011-281-7712 (担当：土木部次長 井本真平)
	メール：imoto@net-ic.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.iwakura-kensetsu.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は昭和34年に設立した総合建設業者であり、北海道を中心として港湾、漁港に関わる海上土木工事、浚渫・埋立工事、漁礁設置工事をはじめとし、道路、河川、空港等の土木工事のほか、建築工事の請負工事を実施している。</p>
---

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	従事者への省エネ教育と併せて、省エネ対策の推進等を図ることにより、排出されるCO2の排出量を削減する。	排出されるCO2排出量(現場を除く) 【2013年】798t 【目標】415t(約48%削減)
□環境 ✓社会 ✓経済	ICT、BIM/CIM活用、i-construction2.0の取組み等により、業務の効率化、合理化、生産性向上を図り、役職員が能力の発揮できる職場環境の創出を目指し、時間外労働時間の短縮を図る。	月平均時間外労働 【現状】40時間 【目標】30時間(約25%削減)
□環境 ✓社会 □経済	工事を行う地域において、地元住民、自治体、施設管理者等に対し、地域特性に見合った有効な社会貢献活動を実施する。	社会貢献活動実施回数 1工事当たり3項目以上

(次項へ続く)

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・「企業行動規範」(経営方針)を定め、国籍・性別・年齢・障害の有無等による差別やハラスメント等の不当な扱いを行わないことを明記している。 ・それを社内イントラネットに掲載し社内共有するとともに、ホームページにて情報発信している。					5.1 5.2 5.5											16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・あらゆるハラスメント行為の排除のため、「職場におけるハラスメントの防止に関する規定」を定め、ハラスメント相談員を指名し、対応フローも明確にして社内相談体制を構築するとともに、研修等を定期的実施している。					5.1 5.2 5.5											16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・労働基準法等の改正内容を経営陣を含めて共有している。 ・仕事の効率化、合理化により、時間外労働の短縮を図っている。 ・過労、長時間労働を抑制するため、勤怠管理システムを導入し、厳格な管理を行っている。 ・ICT、BIM/CIM活用、i-Construction2.0への取組みにより、施工の効率化等を進めている。また、本社ICT課で作成3Dデータの活用範囲を広げ、より効率化、生産性を向上させ労働時間短縮に繋げる努力をしている。															8.5 8.8		
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	現在2名の外国人派遣社員が在籍している。土木技術部ICT課に所属し業務を行っている。言語の障壁は存在するが、業務打ち合わせの頻度を増やし、PDCAサイクルによりコミュニケーションを図り、相互理解に努めている。				4.4											8.5 8.7 8.8	10.2 10.3	
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	熟練職員引退に対応するため、OJTの積極取り組み、3Dモデルを使った安全教育を推進している。また、熱中症対策として、現場事務所においてクーラー設置、ドリンク・飴類の支給、空調ベストの支給を推進している。			3												8		
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	定期の安全パトロール時に担当部課長による聞き取り調査を行いメンタル、職場環境等について意見を聞く機会を設けている。また、ストレスチェック制度実施規定を定め、年1回のストレスチェックを行っている。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・「次世代育成支援対策における行動計画」を策定するとともに、育児や介護休業、短時間勤務、定年再雇用、嘱託等の社内規程を整備し、より多様な人材が活躍できる環境の整備を行っている。					5.1 5.5										8.5	10.2 10.3	
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・役職員のスキルアップに対して、研修プログラムの策定を行うとともに、資格取得費用の全額負担等の積極的な支援を実施している。				4	5.5										8	9	
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・「人事考課規定」を定め、これに基づき、公正で合理的な人事管理を行い、昇給、賞与、配置、昇格等を実施している。					5.5										8.5	10.2 10.3	

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・全国土木建築国民健康保険組合のヘルスアップチャレンジ2020を宣言するなど、社員の健康保持増進への取り組みを実施している。			3									8					
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・建設廃棄物の発生量を把握するとともに、リサイクルの推進に取り組んでいる。										11.6	12.4 12.5		14.1				
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・「環境活動報告」を策定し、電力、燃料、CO2の把握と削減目標を設定している。 ・「札幌エコメンバー」及び「北海道グリーンビズ認定制度(優良な取組)部門」へ登録されている。								7.3			13						
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・社内意識の醸成、アイドリングストップの励行、ハイブリッド車への切り替え、照明のLED化、工事におけるハイブリッド式バックホウの使用等、環境負荷軽減に向けた取り組みを実施している。 ・保有森林によるCO2を吸収することにより、CO2削減に貢献している。								7.2 7.3			12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・工事を施工する現地の状況把握として、発注者からの情報と併せて地元自治体、住民の情報等多角的な視点から考察し、緊急時に備えている。			3.9			6.3				11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・水質汚濁により生態系に悪影響を与えないよう、シルトプロテクター、バイオログフィルター、シックナー等を工事の種類、現場条件等に応じて使用している。						6.6							15				
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO 14001を取得し、その基本理念に基づき、事業活動のあらゆる段階において環境保全に取り組むため、社員教育、指導、研修等の機会を捉えて周知徹底を図り、着実にこれを実践している。			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・毎年、「環境活動報告」として、環境への取り組み目標、成果等についてHP上で情報開示している。											12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・本店社屋屋上に太陽光発電のソーラーパネルを設置し、再生可能エネルギーの積極活用を行っている。								7.2				13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・工事において、使用するアスファルト、コンクリート、木材等の再生材の積極的な活用を図っている。											12.2	13	14	15			
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・工事の施工全般における安全対策について、着手前の施工会議にて各担当者(安全、品質含む)を交え話し合いを行い、多角的に見て現状に見合った安全管理体制の構築を目指している。			3.9								12.4						
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ISO 9001を取得し、その基本理念に基づき、良いサービス(社会インフラの整備)を提供するために、実践している。												9					
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6					12	13	14	15			

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
24	<b>【社会課題解決】</b> ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・社会課題を解決するための社会インフラ(港湾、道路、河川、橋梁、トンネル等)の建設を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	<b>【地域への配慮】</b> ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・工事を遂行する上で最も影響を受ける地域住民、施設利用者等の声を十分踏まえた施工計画、手順の立案に留意している。				4					9		11	12		14	15		17
26	<b>【社会貢献活動】</b> ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	社会貢献活動として、工事を行う地域特有の事案に関して地元自治体、施設管理者と緊急時、及び災害時の支援協定を結ぶ取り組みを行っている。				4							11			14	15		17
27	<b>【地域資源】</b> ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	工事の遂行に当たり、特に石材や木材は地場産材を積極的に使用している。また、人材についても門戸を開き、1次協力会社を軸に積極的に使用している。									8	9		11	12	13			



カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
<p><b>【記載留意事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。</li> <li>列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)</li> <li>今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。</li> <li>なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。</li> <li>「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。</li> <li>取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。</li> <li>「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。</li> </ul>																			